

6月 園だより

- <教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

2019. 5. 30 文京区立本駒込幼稚園



45年間の「ありがとう」 そしてこれからも…

副園長 和島 千佳子

今、園庭のプランターには、園児がまいた種が小さな芽を出しています。ちゅうりっぷ組の幼児はそれを見つけて喜んでいます。さくら組の幼児は、夏野菜の苗に「大きくなあれ」と言いながら水やりをしています。玄関近くのナツミカンやレモンの木には、アゲハの仲間がやってきます。木の葉に小さな幼虫がいるのをすみれ組の幼児が見付けました。きっとチョウが産み付けた卵からかえたのでしょう。飼育ケースに入れて、成長を楽しみにしながら保育室で育てています。池の上に目をやると、ビワがたわわに実っています。実の色付きとともに、食べ頃を感じるのかやってくる鳥が増えています。まもなく収穫の時期でしょう。

本駒込幼稚園には「自然」を感じるスポットが随所にあります。修了記念に贈られたブドウの木、生き物呼び込むように作った自然園など、地域の方や旧職員との会話から知ることが多くあります。開園から45年、それぞれの時期に関わった職員や保護者、地域の方々が大切に手入れをしてくださり、今ここで過ごす子どもたちの園生活があるのだと思うと、積み重ねられてきた時の重みを感じます。園のセンダンの木に住む精霊のような存在として、30周年の際に誕生したマスコットキャラクター「せんだんふたばちゃん」(本ページ右上)は、園に関わってくださる方々が子どもたちに寄せる温かな思いの象徴のようにも感じられます。

園児一人一人が、幼児期にふさわしい経験を重ねられるよう、職員一同知恵と力を出し合っていこう、と、開園記念日という節目に、改めて強く思います。保護者の皆様と手を携え、共に園児の成長・発達を支えていけるよう、今後ご理解とご協力をお願いします。